

自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長
加納 繁照

当院では自衛消防隊が中心となって、職員も参加する消防訓練を年2回実施しています。病院は災害時に重要な救護拠点となることから、重要性を徹底させて実施しています。



加納総合病院は昭和28年に開

院され、病床数300で、オールラウンドな総合病院を目指し、24時間365日体制で対応する街の救急病院として「小回りが利く」だけでなく、最先端の医療技術と設備も整えられています。

北区 加納総合病院

救急医療において、救急センターでの骨折等に対する整形外科をはじめとして、脳卒中センターでは様々な脳血管疾患に対応し、t-PA静注療法のみならず脳血管内治療によるカテーテル血栓除去手術を実施、他にも内視鏡治療を中心とした消化器センターも設置されています。

長年にわたって「北自衛消防協議会」にご参加いただき、北区の防火・防災意識の向上に



ご尽力いただけてきました。大阪の中心、北区のこの街になくてはならない存在として、「存在し続けることができる誇り」を胸に、今日も「医療」を通して地域貢献されています。

女性防火クラブ だより

福島区

福島区は、北は淀川、南に堂島川と安治川に面した大阪市の北西部に位置しています。そして、9つの駅を有し、市中心部や神戸方面への交通の要衝になっています。また、天下の台所大阪を支える中央卸売市場もあり、食の流通の拠点となっています。

私ども福島区女性防火クラブは、このような多種多様な地勢を持つ福島で、区の花にも指定されている「のだぶじ」をシンボルマークにし、各連合町会の10支部をもって組織、活動しています。

主な活動内容として、普通救命講習や施設見学を実施し、そこで得た技術や知識を、福祉活動である

「ふれあい喫茶」や「高齢者食事サービス」において、高齢者のみなさんにお伝えし、予防救急や防火・防災の普及啓発に努めています。

また、いざという時に地域の頼もしい担い手となる若者の育成のため、毎年、区内3校の中学生を対象に、応急手当等の防災研修の指導にも努めています。

今後とも、微力ではありますが、地道な活動を重ねることにより「ええまちやん みんなでささえる 防火の芽」を実現したいと思ひます。

